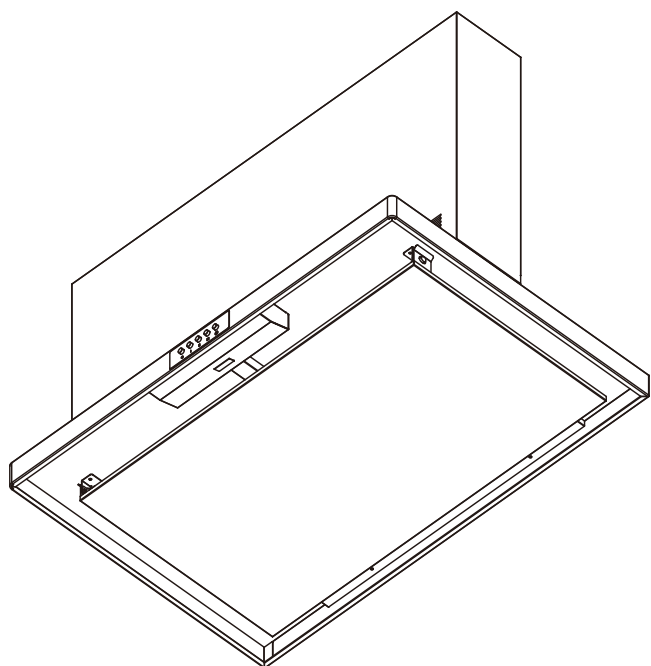


取付・設置説明書

スリム型フード (シロッコファン)



目次

安全上のご注意	1
取付け方法	2～5
外観寸法図	6
電気配線について	7
試運転	7

(WDS-※※5 / WBS-※※5)
(WDS-※※6 / WBS-※※6)

- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	「禁止」事項
	指示に従う
	分解・修理・改造禁止
	接触禁止
	電源プラグを抜く
	水場での使用禁止

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

- ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

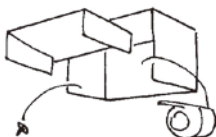
 **警告** 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

 **注意** 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

警告



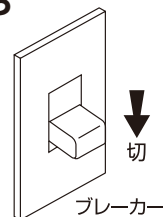
修理分解はしない



- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理改造は行わないでください。
発火・感電したり、異常作動してけがをするおそれがあります。



お手入れは「切」にしてから



- お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切ってください。(分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります。)ぬれた手で触らないでください。感電や、けがのおそれがあります。



水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしない



- 水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないでください。
ショート・感電や火災のおそれがあります。



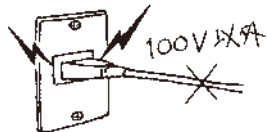
ガスもれのときはスイッチを入れない



- ガスもれの時は換気扇スイッチを入切しないでください。
ガス爆発の原因となります。



交流100V以外では使用しないこと



- 火災の原因になります。



レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります

※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください

注意



調理中や運転中に部品をはずさない

- 調理中や運転中に整流板、パージングフィルター及び周辺の部品等はずそうとしないでください。
落下によりけがをするおそれがあります。



部品を扱うときは厚手の手袋使用

- 部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。
金属端面などでけがをするおそれがあります。



運転中は指や物を入れない

- 運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。
けがのおそれがあります。



レンジフードにのらない

- レンジフードにのったり、ぶら下がることはやめてください。
落下によりけがをするおそれがあります。



部品の取り付けは確実に

- 部品の取り付けは確実に行ってください。
落下によりけがをするおそれがあります。



電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
火災の原因になります。



電源コードを傷めない

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。
電源コードが断線し、火災の原因になります。



電源プラグのお手入れを

- 定期的に電源プラグを抜き、電源プラグのほこり等を除去してください。
湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

お取付前の注意事項

- (1) 部屋全体の換気には他の換気扇（ダクト用換気扇、または一般用換気扇）を併用してください。（レンジフードは局所換気専用です。）
- (2) 取付・設置の際は厚手の手袋を使用してください。
- (3) 取付高さは標準80cmです。（但し、消防法により規制される場合がありますので注意してください。）
製品は調理器具の真上に取付け、取付高さは調理器具より80cm（※）の高さに取付けます。高すぎると排気効果が低下し、低すぎると台所での仕事のさまたげになったり、高熱による故障の原因になります。

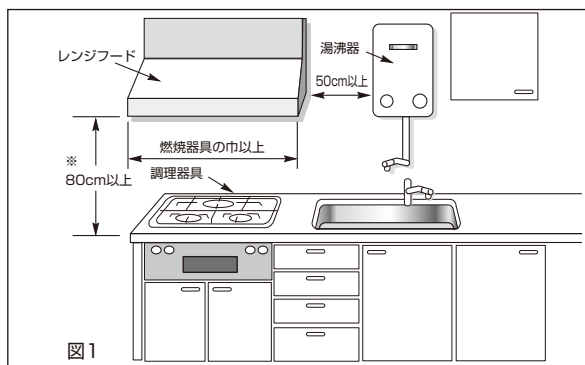


図1

す。(図1)

- (4) 湯沸器の上部は高温になるので、湯沸器の真上には取付けしないでください。(図1)
- (5) ダクト排気するときはダクト抵抗の確認が必要です。
- (6) 空気の取入口を設けてください。
密閉された部屋で使用する場合は、空気取入口を設けます。空気取入口の位置はレンジフードと反対側に設け、大きさは排気口の大きさ（□156mm）以上にしてください。(図2)
- (7) 取付面の強度をよく調べて取付けてください。
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。
- (8) 電源コードは傷付けないよう配線してください。
- (9) フード周辺のレイアウトは、各市町村の条例に従ってください。
- (10) 雨水の侵入や結露水の逆流防止の為、ダクト配管は屋外側に向けて下り勾配を設けてください(目安：1/100～1/50程度)。

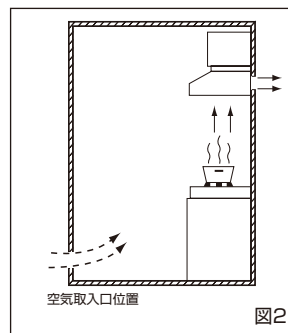


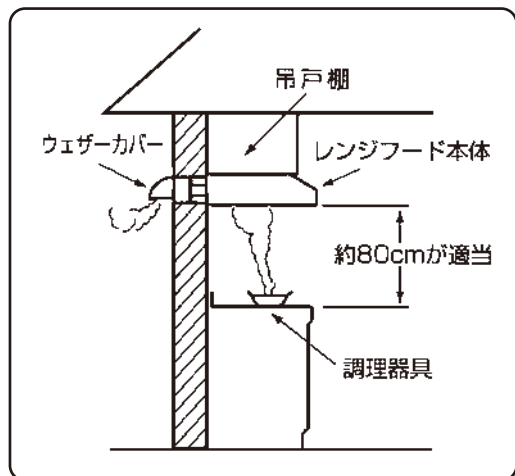
図2

取付け方法

1

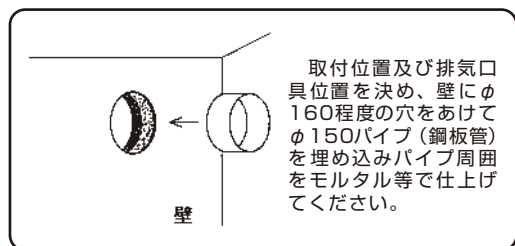
取付位置を決める

調理器具の真上80cm位の所に取付けてください。

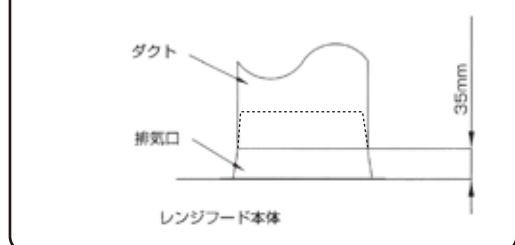


2

壁に穴をあけダクトを取付ける



■φ150ダクトの差し込み寸法



3

付属品を確認する

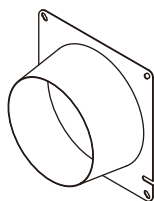
共通部品

ねじセット

タッピングねじ
4×50
(6本)
※予備2本



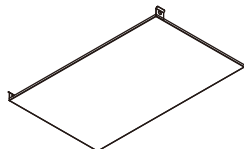
排気口具(1ヶ)



トラスタッピンねじ
4×10
(4本)

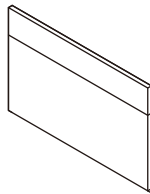


整流板(1ヶ)



スライド幕板仕様

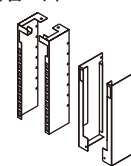
スライド前幕板(1ヶ)



丸木ねじ
3.8×13
(6本)



塞ぎ板上(左・右)
塞ぎ板下(左・右)
(各1ヶ)



トラスタッピンねじ
4×10
(8本)



引っ掛け金具(左・右)
【スライド前板用】
(各1ヶ)

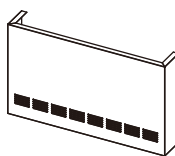


すき間テープ
【塞ぎ板上用】
(1本)



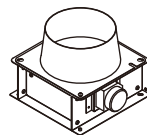
固定幕板仕様

前幕板(1ヶ)

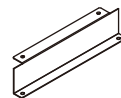


同時給排仕様

電動シャッター
(2ヶ)
排気用×1
給気用×1



上給気取付脚
(2ヶ)



トラスタッピンねじ
4×10
(8本)

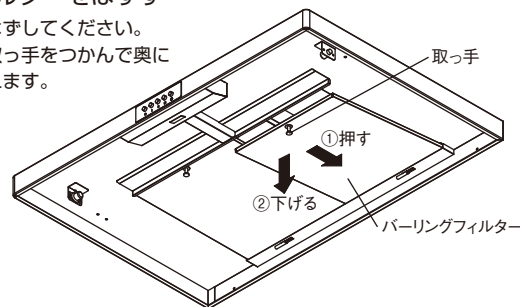


4

取付け前の準備をする

4-1 バーリングフィルターをはずす

バーリングフィルターをはずしてください。
バーリングフィルターの取っ手をつかんで奥に
押しながら下げるとはずれます。

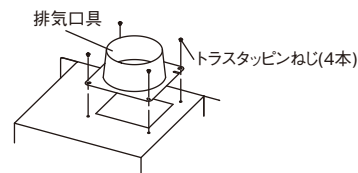


4-2 排気口具を取付ける

排気口具を取付ける際には、排気口具に貼付けてある「ご注意」をお読みの上取付けてください。

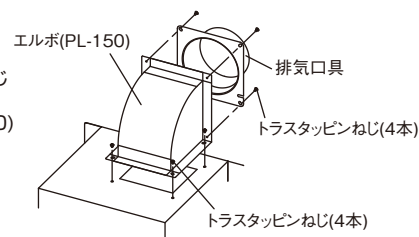
上方排気の場合

排気口具をトラスタッピンねじ(4×10)4本で
取付けてください。



後方排気の場合

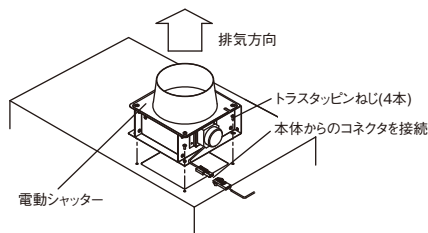
別売のエルボ(PL-150)が必要です。
(1)エルボ(PL-150)をトラスタッピンねじ
(4×10)4本で取付けてください。
(2)排気口具をトラスタッピンねじ(4×10)
4本で取付けてください。



4-3 電動シャッターを取付ける(同時給排仕様の場合)

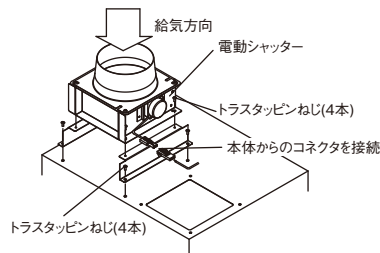
上方排気の場合

- (1)排気口に電動シャッターをトラスタッピンねじ(4×10)4本で取付けてください。
- (2)本体からのコネクタを電動シャッターのコネクタに接続してください。



上方給気の場合

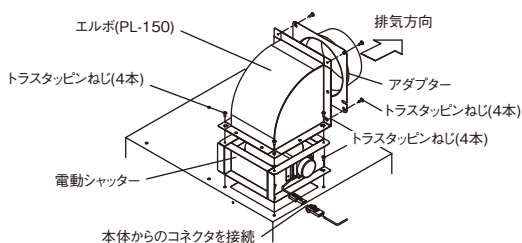
- (1)同梱の上給気取付脚を電動シャッターにトラスタッピンねじ(4×10)4本で取付けてください。
- (2)本体の取付穴に上給気取付脚をトラスタッピンねじ(4×10)4本で取付けてください。
- (3)本体からのコネクタを電動シャッターのコネクタに接続してください。



後方排気の場合

別売のエルボ(PL-150)が必要です。

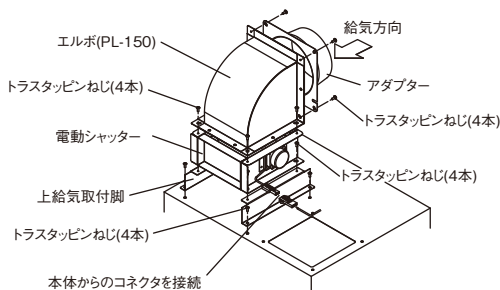
- (1)電動シャッターからアダプターを取り外し、間にエルボ(PL-150)を取付けてください。
- (2)排気口にエルボを取付けた電動シャッターを取付けてください。
- (3)本体からのコネクタを電動シャッターのコネクタに接続してください。



後方給気の場合

別売のエルボ(PL-150)が必要です。

- (1)電動シャッターからアダプターを取り外し、間にエルボ(PL-150)を取付けてください。
- (2)電動シャッターに上給気取付脚を取付け、本体の取付穴にトラスタッピンねじ(4×10)4本で取付けてください。
- (3)本体からのコネクタを電動シャッターのコネクタに接続してください。

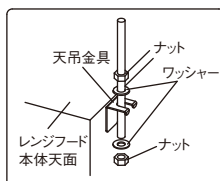
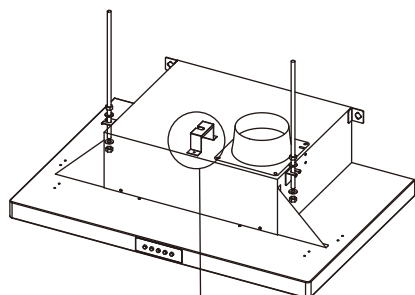


5 本体を取付ける

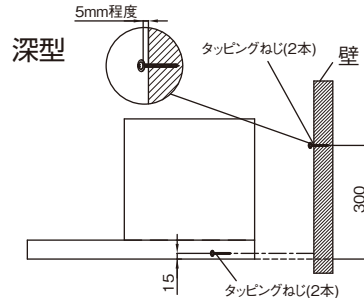
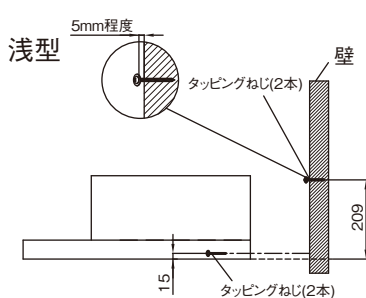
製品の固定

取付面について

- 木質壁の場合は、取付面の板厚は20mm以上。それ以下の場合には、壁に補強板を埋め込み補強を施してください。
 - コンクリート、タイル壁の場合は、あらかじめ壁に補強板を埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用してください。
- (1)外観寸法図を参考に、吊りボルトを垂らしてください。吊りボルトはM10を用いてください。
 - (2)吊りボルトにM10のナットとワッシャー(取付業者手配)を差し込んでください。
 - (3)仮止め穴位置にタッピングねじ(2本)の頭を5mm程度浮かせてねじ込んでください。
 - (4)このねじに本体を引っ掛けてから増し締めしてください。
 - (5)タッピングねじ(2本)で他の箇所を固定してください。
 - (6)本体の天吊金具に吊りボルトを差し込み、下側からM10のナット、ワッシャー(取付業者手配)をしっかりと締め付けてください。

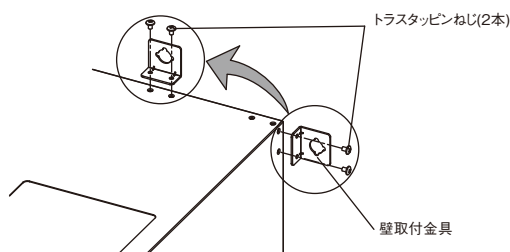


※吊りボルト、ナット、ワッシャーは同梱されておりません。



浅型の壁取付金具について

浅型フードは壁取付金具の位置を移動することができます。標準位置で取付けが困難な場合は、外観寸法図を参考に位置を移動してください。

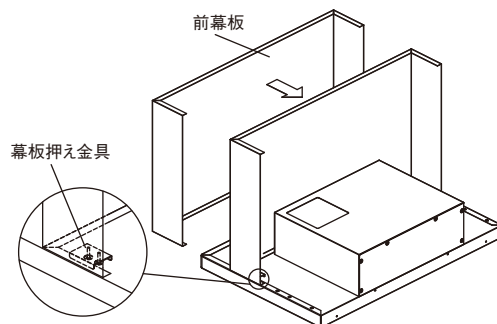


本体中央の天吊金具について(浅型フードの一部仕様のみ)
梁などで片側の天吊りが困難な場合は、中央の天吊金具に吊りボルトを取付けてください

6

固定前幕板を取付ける

- (1) 幕板押え金具を固定しているねじを少し緩めてください。
(本体と幕板押え金具の隙間を3～5mm程度にしてください)
- (2) 前幕板を前方から幕板押え金具の隙間に差し込んでください。
- (3) 前幕板の前面を浅型は450mm、深型は375mmになるように調整し幕板押え金具のねじを締めて固定してください。

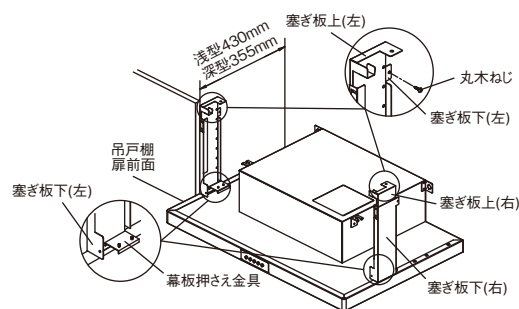


7

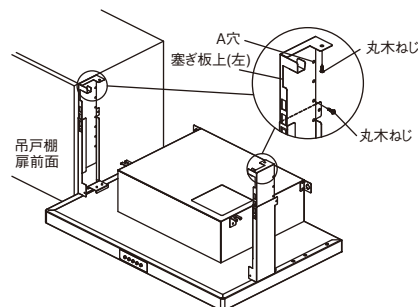
スライド前幕板を取付ける

7-1 塞ぎ板を固定する

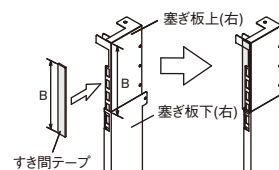
- (1) 幕板押え金具を固定しているねじを少し緩めてください。
(本体と幕板押え金具の隙間を3～5mm程度にしてください)
- (2) 塞ぎ板上を塞ぎ板下に差し込み、幕板押え金具のすき間に差し込んでください。
- (3) 塞ぎ板下の前面を浅型は430mm、深型は355mmになるように調整し幕板押え金具のねじを締めて固定してください。
- (4) 塞ぎ板下の側面固定穴を丸木ねじ(3.8×13)で側面のキャビネットや壁に固定してください。



- (5) 塞ぎ板上を天井に当たる位置まで伸ばし、丸木ねじ(3.8×13)で天井に固定してください。
※各市・町・村の条例などにより、天井に固定できない場合は、塞ぎ板上側面の穴のうち最上部にあるA穴を使用し側面のキャビネットや壁に固定してください。
- (6) 塞ぎ板上側面の穴の中で塞ぎ板下と被っていない最下部の穴を、丸木ねじ(3.8×13)でキャビネットや壁に固定してください。

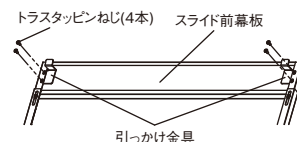


- (7) 付属のすき間テープを塞ぎ板上の長さBにカットしてから塞ぎ板上前面に貼付けてください。
※付属のすき間テープは、塞ぎ板上左右2本分の長さになります。

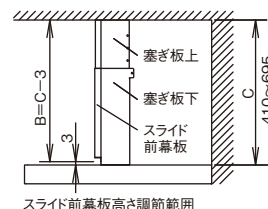


7-2 スライド前幕板の高さを合わせる

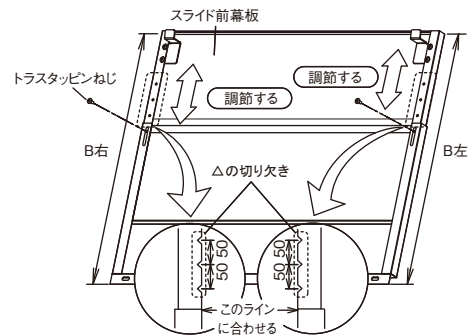
- (1) 付属の引っ掛け金具をトラスタッピンねじ(4×10)4本でスライド前幕板に固定してください。



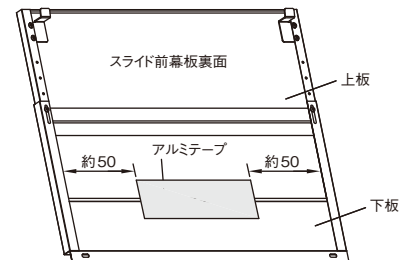
- (2) 設置高さCを確認してください。
※調整可能高さ(C)は410mm～695mmです。
- (3) 3mmのすき間を設け、寸法Bを決めてください。



- (4) 幕板補強板を固定しているトラスタッピンねじ(4×10)2本をはずしてください。
- (5) スライド前幕板をスライドさせ、左右とも前幕板高さ寸法Bに合わせてください。
※寸法を合わせる際、前幕板裏面には50mmごとに△の切り欠きがあるので、寸法の目安にしてください。
最上段の△を合わせると前幕板の高さは413mmになります。
- (6) 取りはずしたトラスタッピンねじ(4×10)2本を使用しスライド前幕板と幕板補強板を固定してください。



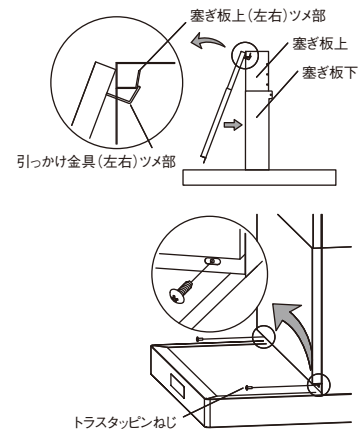
- (7) スライド前幕板上板と下板の裏面をアルミテープで固定してください。
※アルミテープは取付業者手配です。



※アルミテープの固定は、前幕板の両端から約50の位置で貼ってください。

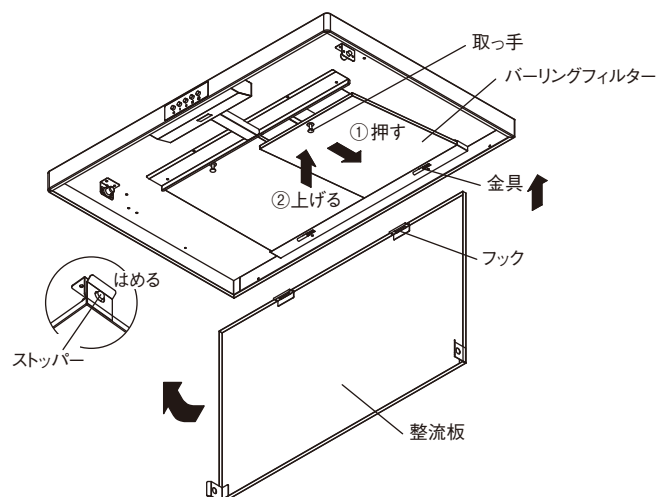
7-3 スライド前幕板を取付ける

- (1) 固定された塞ぎ板上のツメ部分にスライド前幕板上部の左右に取付けた引っ掛け金具を差し込み、スライド前幕板を取付けてください。
- (2) トラスタッピンねじ(4×10)2本でスライド前幕板下部を固定してください。



8 バーリングフィルター・整流板を取付ける

- ① バーリングフィルターを取付けてください。
取っ手をつかんで奥に押しながら持ち上げると取付きます。バーリングフィルターが確実に取付いている事を確認してください。
- ② 整流板を取付けてください。
(1) 整流板を両手で持ちながら奥側のフック(2ヶ所)を金具(2ヶ所)に引っ掛けてください。
(2) 整流板の手前側を持ち上げ、左右のストッパーにはまるまで押し込んでください。整流板を軽く手で上下に動かし、確実に取付けられていることを確認してください。

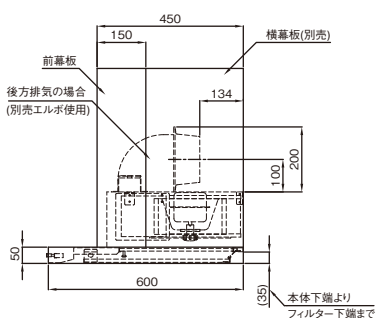
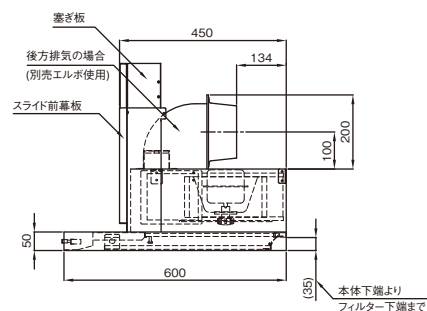
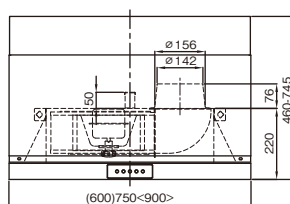
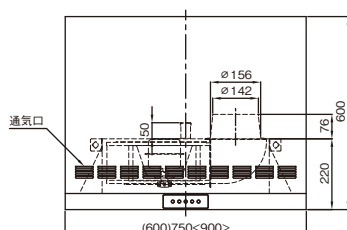
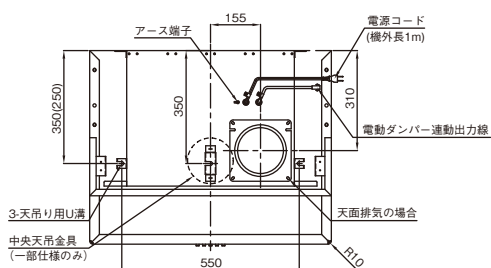


特注仕様の場合、各寸法が異なる場合があります。

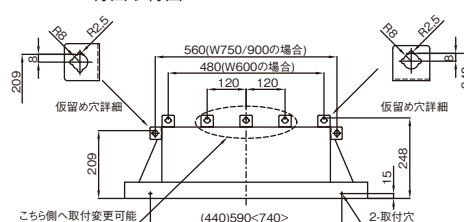
浅型

左排気仕様は、排気位置が中心線に対して反対の位置になります。

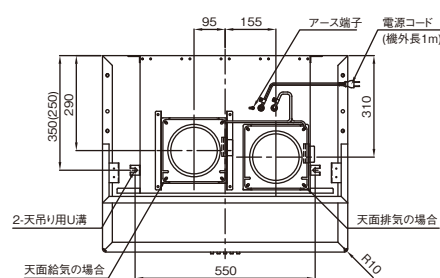
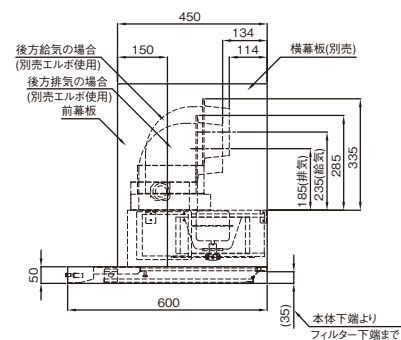
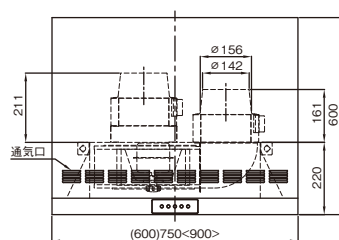
スライド幕板仕様



背面取付図

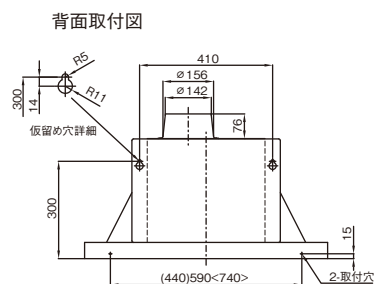
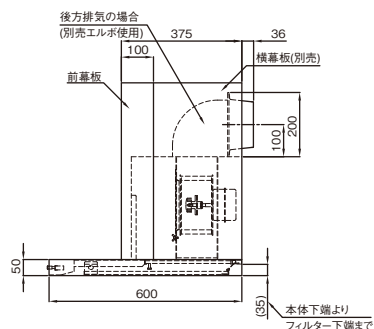
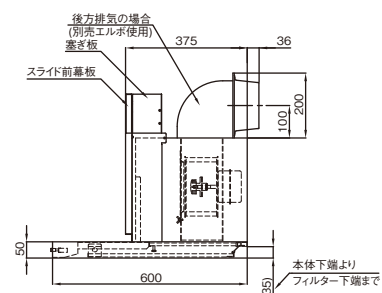
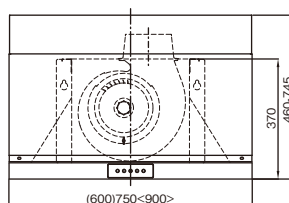
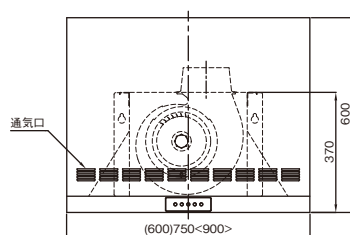
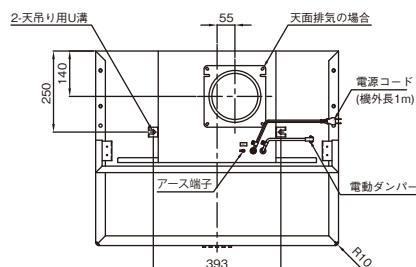


同時給排仕様



深型

スライド幕板仕様



10 電気配線



分解・修理・改造禁止

- 修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと

発火・感電したり、異常作動してけがをすることがあります。



アースを取り付ける

- アースを確実に取り付けること

故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

- 1 コンセントは125V、15Aのものを設置してください。
- 2 必ずアース（D種接地）をしてください。
アース接地位置は「外観寸法図」を参照ください。
※アース線は取付・設置側にて手配してください。
- 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。



使用禁止

- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。



取付注意

- 配線の接続は、「電気設備技術基準」や「内線規定」に従って安全・確実に行うこと
誤った配線接続は感電や火災のおそれがあります。

11 試運転

⚠ 注意



接触禁止

- 運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れないこと

けがをしたり、故障の原因となります。

- 1 本体の各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 2 運転時、各速調の排気が正しく行われていること。
- 3 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 4 取付け又は設置上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

12 お客様への説明

- 1 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 2 取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様へお渡しください。



WATANABE
Manufactory Company Limited

株式会社 渡辺製作所

〒104-0031 東京都中央区京橋1-6-11
カンケン京橋ビル5F

■東京支店 TEL (03) 3538-6690 FAX (03) 3538-6691